



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2587 URL https://www.suntory.co.jp/sbf/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 和弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 三野 隆之 TEL 03-5579-1837
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 2021年9月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	603,835	9.3	60,401	69.1	59,343	69.0	40,508	52.5	32,159	53.7	71,927	-
2020年12月期第2四半期	552,529	△12.0	35,712	△29.8	35,113	△29.7	26,558	△28.8	20,922	△34.1	5,666	△75.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	104.07	-
2020年12月期第2四半期	67.71	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,672,330	915,749	830,012	49.6
2020年12月期	1,574,251	859,556	781,755	49.7

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期第2四半期	88,976	△24,168	△72,559	162,280
2020年12月期第2四半期	43,897	△30,662	28,869	183,288

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	39.00	-	39.00	78.00
2021年12月期	-	39.00	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	-	-	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	6.9	105,000	9.2	103,500	9.9	73,500	14.3	60,500	15.9	195.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	309,000,000株	2020年12月期	309,000,000株
2021年12月期2Q	3株	2020年12月期	3株
2021年12月期2Q	308,999,997株	2020年12月期2Q	308,999,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客様の嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客様の生活に豊かさをお届けするという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて収益力の強化にも取り組みました。

市場環境の回復ペースには国ごとに差がありますが、3月以降、当社グループの事業は力強い回復基調を継続しました。全セグメントにおいて、コアブランドへの集中活動、コスト削減活動及び販促広告費の効率化を継続した結果、第1四半期に引き続き、当第2四半期連結会計期間も、売上収益、営業利益ともに想定を超える進捗を示しています。

当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～6月30日）の連結売上収益は6,038億円（前年同期比9.3%増）、連結営業利益は604億円（前年同期比69.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は322億円（前年同期比53.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[日本事業]

緊急事態宣言の断続的な発令により人の動きが制限された影響等で、清涼飲料市場（当社推定）は前年同期並みにとどまりました。当社販売数量は、水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献した結果、前年同期を上回り、市場シェアを拡大しました。

「サントリー天然水」は、大容量需要増で大きく伸長した前年同期を上回り、ブランド全体の販売数量は前年同期比増となりました。「サントリー天然水 スパークリング」シリーズは、6月に新発売した「THE STRONG」が寄与し、大きく伸長しました。「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回りました。3月にリニューアルした「クラフトボス」コーヒーシリーズが伸長したことに加え、紅茶シリーズの新商品が増分に寄与しました。無糖茶カテゴリーでは、「伊右衛門」はリニューアル効果により当第2四半期連結会計期間も伸長し、4月に新発売した「伊右衛門 京都ブレンド」の貢献もあり、ブランド全体の販売数量は前年同期を大きく上回りました。

収益面では、チャンネルミックスの変化が引き続きマイナスに影響しましたが、小容量（500ml PET）サイズの伸長により商品構成は改善し、加えて、コスト削減活動、販促広告費の効率化への継続的な取組みが大きくプラスに寄与しました。

これらの結果、日本事業の売上収益は2,980億円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は176億円（前年同期比58.7%増）となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアでは、清涼飲料市場は、年初より一部地域で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い断続的に人の動きが制限された影響を受けたことに加え、5月中旬以降の感染者数再拡大による制限強化の影響を受けました。当社グループの事業は、コアブランドへの活動集中が貢献し、ベトナム及びタイの清涼飲料市場で当社グループのシェアを拡大しました。健康食品事業も、当第2四半期連結会計期間に大きく伸長しました。ブランド別には、ベトナムでは全ブランドが伸長する中、特にエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」が大きく伸長し、タイでは低糖製品を含め「Pepsi」が好調に推移しました。健康食品事業では、主力の「BRAND' S Essence of Chicken」に注力、マーケティング活動強化の効果もあり、前年同期を上回って推移しました。

オセアニアでは、主力ブランドであるエナジードリンク「V」が、マーケティング活動強化により大きく伸長したことにより、エナジーカテゴリーを牽引し、市場シェアを拡大しました。

収益面では、売上の増加及び商品構成の改善に加え、コスト削減活動が寄与しました。

これらの結果、アジアパシフィック事業の売上収益は1,487億円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は236億円（前年同期比42.1%増）となりました。

[欧州事業]

欧州では、各国でのワクチン接種進捗に伴う制限緩和により人の動きが戻ってきており、3月以降、清涼飲料市場は着実に回復してきています。

フランスでは、好調な家庭用に加えて、6月より業務用も規制緩和や夜間外出規制の撤廃により回復し、主力ブ

ランド「Orangina」及び「Oasis」、並びに当第2四半期連結会計期間に更にブランド強化を行った「Schweppes」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。英国では、ワクチンの接種進捗が最も早く、市場が回復しました。主力ブランド「Lucozade」及び「Ribena」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。特に、「Lucozade Sport」が、スポーツイベントや屋外アクティビティ再開に伴い力強く伸長しました。スペインでは、引き続き家庭用が堅調であることに加え、制限緩和を受けて業務用も回復し始めていることが寄与し、主力ブランド「Schweppes」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。

収益面では、売上増加及び販促広告費の効率化に加え、コスト削減活動が寄与しました。

これらの結果、欧州事業の売上収益は1,111億円（前年同期比26.7%増）、セグメント利益は188億円（前年同期比78.8%増）となりました。

[米州事業]

主力炭酸ブランドの更なる販売強化に取り組むとともに、水やコーヒー飲料等、伸長している非炭酸カテゴリーにも注力しました。ワクチン接種の進捗に伴い業務用の制限が撤廃されたことも寄与し、売上は前年同期を大きく上回りました。

収益面では、売上増加に加えてコスト削減が寄与しました。

これらの結果、米州事業の売上収益は460億円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は58億円（前年同期比97.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権及びその他の債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ981億円増加して1兆6,723億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ419億円増加して7,566億円となりました。

資本合計は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による利益剰余金、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ562億円増加して9,157億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ52億円減少し、1,623億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益593億円、減価償却費及び償却費345億円、仕入債務及びその他の債務の増加419億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ451億円増加し、890億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出225億円等があったものの、資金の支出は前年同四半期と比べ65億円減少し、242億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及びコマмерシャル・ペーパーの減少426億円、長期借金の返済による支出181億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ1,014億円増加し、726億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月9日に発表しました連結業績予想から変更ありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数の再拡大が全世界的にみられる中、ワクチン接種の進捗にエリア・国ごとに濃淡がある等、市場環境はより変動が激しくなっています。原材料価格高騰、グローバルサプライチェーンの混乱等、当初想定以上に影響を受け始めています。

このような状況の中、下半期は、当第2四半期連結会計期間のモーメンタムを継続するべく、売上収益の成長に向けた活動・投資を推進していきます。加えて、市場の状況を鑑み、「攻め」と「守り」を柔軟に組み合わせ、素早く行っていきます。より成長に舵を切りながら、事業をマネジメントしていくことで、既存事業ベースの営業利益は、2019年12月期の水準を、当初計画から1年前倒しし、2021年12月期での達成を目指していきます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	167,480	162,280
売上債権及びその他の債権	196,242	232,981
その他の金融資産	717	1,024
棚卸資産	79,260	96,454
その他の流動資産	23,496	25,826
流動資産合計	467,198	518,567
非流動資産		
有形固定資産	360,358	377,611
使用権資産	50,772	52,510
のれん	250,448	255,741
無形資産	405,175	428,085
持分法で会計処理されている投資	895	904
その他の金融資産	14,513	14,182
繰延税金資産	15,465	17,035
その他の非流動資産	9,423	7,692
非流動資産合計	1,107,052	1,153,762
資産合計	1,574,251	1,672,330

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	83,401	37,556
仕入債務及びその他の債務	308,381	369,667
その他の金融負債	33,542	44,432
未払法人所得税等	14,628	18,080
引当金	1,586	1,057
その他の流動負債	4,986	8,834
流動負債合計	446,526	479,628
非流動負債		
社債及び借入金	120,292	119,952
その他の金融負債	52,867	55,550
退職給付に係る負債	15,073	15,616
引当金	2,287	2,361
繰延税金負債	71,695	78,315
その他の非流動負債	5,952	5,155
非流動負債合計	268,168	276,952
負債合計	714,694	756,580
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,414	182,380
利益剰余金	492,451	512,559
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△61,495	△33,312
親会社の所有者に帰属する持分合計	781,755	830,012
非支配持分	77,801	85,737
資本合計	859,556	915,749
負債及び資本合計	1,574,251	1,672,330

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
売上収益	552,529	603,835
売上原価	△327,330	△350,219
売上総利益	225,199	253,615
販売費及び一般管理費	△188,639	△192,666
持分法による投資損益	△83	20
その他の収益	1,520	980
その他の費用	△2,284	△1,549
営業利益	35,712	60,401
金融収益	587	259
金融費用	△1,186	△1,317
税引前四半期利益	35,113	59,343
法人所得税費用	△8,555	△18,834
四半期利益	26,558	40,508
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	20,922	32,159
非支配持分	5,635	8,349
四半期利益	26,558	40,508
1株当たり四半期利益(円)	67.71	104.07

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	26,558	40,508
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△691	21
確定給付制度の再測定	△81	△238
純損益に振り替えられることのない項目合計	△773	△216
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△19,906	30,631
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	△161	957
持分法投資に係る包括利益の変動	△51	47
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△20,118	31,635
税引後その他の包括利益	△20,891	31,419
四半期包括利益	5,666	71,927
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,846	60,342
非支配持分	3,819	11,585
四半期包括利益	5,666	71,927

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月1日	168,384	182,349	464,705	△0	△58,870	756,568	80,997	837,565
四半期利益			20,922			20,922	5,635	26,558
その他の包括利益					△19,075	△19,075	△1,816	△20,891
四半期包括利益合計	—	—	20,922	—	△19,075	1,846	3,819	5,666
配当金			△12,050			△12,050	△2,320	△14,371
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		82				82	△54	27
所有者との取引額合計	—	82	△12,054	—	3	△11,968	△2,375	△14,344
2020年6月30日	168,384	182,431	473,573	△0	△77,942	746,446	82,440	828,887

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日	168,384	182,414	492,451	△0	△61,495	781,755	77,801	859,556
四半期利益			32,159			32,159	8,349	40,508
その他の包括利益					28,183	28,183	3,235	31,419
四半期包括利益合計	—	—	32,159	—	28,183	60,342	11,585	71,927
配当金			△12,050			△12,050	△3,676	△15,727
非支配持分との取引		△34				△34	27	△6
所有者との取引額合計	—	△34	△12,050	—	—	△12,085	△3,649	△15,734
2021年6月30日	168,384	182,380	512,559	△0	△33,312	830,012	85,737	915,749

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	35,113	59,343
減価償却費及び償却費	35,311	34,547
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	170	147
受取利息及び受取配当金	△576	△246
支払利息	1,127	934
持分法による投資損益(△は益)	83	△20
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,420	△15,026
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△13,231	△32,065
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	6,730	41,886
その他	2,565	13,853
小計	56,874	103,353
利息及び配当金の受取額	633	213
利息の支払額	△1,311	△1,201
法人所得税の支払額	△12,297	△13,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,897	88,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△31,138	△22,482
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	154	26
事業譲受による支出	—	△2,181
その他	321	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,662	△24,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	52,959	△42,612
長期借入れによる収入	30,000	11,187
長期借入金の返済による支出	△32,194	△18,108
リース負債の返済による支出	△6,864	△6,941
配当金の支払額	△12,050	△12,050
非支配持分への配当金の支払額	△2,979	△4,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,869	△72,559
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,104	△7,750
現金及び現金同等物の期首残高	143,564	167,480
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△2,381	2,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,288	162,280

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。